

2017年8月3日

ウィスコンシン大学園芸学科よりジワン・パルタ教授が来学

本学は2013年度より、ウィスコンシン大学マディソン校およびカルビーポテト株式会社と「バレイショ栽培におけるカルシウム施肥」に関する共同研究を行っています。ポテトチップスの原料となる加工用バレイショ栽培において、適切なカルシウム施肥は高収量で高品質なバレイショを生産するために重要である事が示されてきました。

今年度は、北海道の十勝地域、上川地域および北関東地域で、栽培方法に適したカルシウムおよびマグネシウム施肥の方法を確立するために圃場試験を行っています。今回は、共同研究者のウィスコンシン大学マディソン校のジワン・パルタ教授を招聘し、各地域で行っている圃場試験の進捗状況の確認と土壌や作物のサンプリングを共同で実施しました。また、パルタ教授は本学の食品科学、作物生理学、作物保護学とも共同研究を実施しており、各分野の研究者や学生との会議を精力的に行っていました。

今後は、圃場での収量調査を実施し、データを共同で解析するとともに、得られた知見を生産者に広く伝えるために研究発表会を実施する予定です。



本学フィールド科学センターに設置した栽培試験圃場



茨城県小美玉市の生産者圃場における生育調査と聞き取り調査